学校だより１１月号　　令和8年10月３１日

とみひさ

新宿区立富久小学校

校長　牧田　健一

https://www.shinjuku.ed.jp/es-tomihisa/

あきらめず、全力で競い合う

校長　牧田　健一

過日の運動会では、多数の保護者の皆様に、ご観覧いただきありがとうございました。現状の内容で行う運動会は今年で４年目になります。始めの年は、子どもたちも教員も久しぶりの実施なので戸惑うことも多い運動会でしたが、令和５年に入学した１年生も今や４年生になり、当時の２・３年生が高学年として運動会を支えてくれるようになりました。応援団や係の仕事、迫力ある走り、バトンパスを見て、「あんな風になりたいな」というあこがれの気持ちを現実にして、１日を全力で取り組んでくれました。１～３年生も高学年の姿にあこがれをもって成長してほしいと願っています。

今年の運動会のスローガンは、「汗と絆で奇跡を起こせ！」でした。仲間を信じて、全力で取り組むことが奇跡を起こすという意味です。そのスローガンの通りに子どもたちは活動しました。全力で取り組む自分や仲間、相手に対して感謝の気持ちをもち、その姿に感動し、その気持ちに感激する、そのような運動会になったのではないかと思います。それも、皆様からの大きな声援と拍手が、子どもたちにとって大きな励みと自信につながりました。重ねてお礼をお申し上げます。

全力で競い合う姿はとても美しく、人に感動を与えます。トップアスリートのハイレベルなパフォーマンスではなくても、全力で競い合う姿に人は感動するものだと思っています。今回の運動会で、皆様に感動を送ることができたでしょうか。子どもたちは少なくとも、その学年なり、子どもなりの全力は出し切りました。そして、高学年は、全力を出し切った者にしか味わえない感情を運動会で味わうことができたのではないかと思っています。

「私たちの最大の栄光は、決して倒れないことではなく、倒れるたびに立ち上がることにある」（孔子）。今日は、負けてしまいましたが、そこから立ち上がること、やり直せる力、そしてまた、全力で立ち向かう力を富久小学校の子どもたちに身に付けさせたいと考えています。笑顔いっぱい、元気いっぱいの子どもたちと富久小学校の教育に今後もとご支援、ご協力をお願いいたします。

ふれあい月間

１１月は、今年度２回目の「ふれあい月間」です。アンケートを活用し、子どもたちの生活の様子や友達関係について把握していきます。子どもたちが互いを大切にしながらよりよい人間関係を築き、安心して楽しく学校生活を送ることができるよう、努めてまいります。また、ご家庭でも、お子様と、友達との関わり方や学校での出来事、家庭での過ごし方などについて話し合う機会をもっていただければ幸いです。

読書月間が始まります

富久小では１１月を読書月間とし、様々な活動を予定しています。図書委員会では、低学年・高学年の人気本ランキングを作成しています。２６日は、図書ボランティアの皆さんの催し物や作家先生をお招きした講座など、一日読書の日を行います。また、お家の方と一緒に読書に親しむ「ファミリー読書」にも取り組みます。様々なジャンルの本を手に取れる一か月になればと思います。ぜひ一緒にお楽しみください。